

第12回新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会概要

日 時 令和2年8月31日（月）13:30～15:15

会 場 新居浜市役所 2階 21会議室

出席者 小笠原忠彦委員外10人、事務局職員9人

傍聴者 なし

1 教育長あいさつ

コロナ対応で、大変、国全体が難しい局面を迎えている昨今ですけれども、新居浜市の今後の学校の在り方についてご検討いただくことになっております。

国の方では、教育再生検討会議の中でクラスサイズのことやら、9月の学年始まりの事やら、諸々の議論をしているというような話も伝わっておりますが、確かな情報の中で私たちは、新居浜の子どもたちのために、良い議論をしていくことが大切だと考えております。

委員の皆様には忌憚のない意見を賜りまして、新居浜市の子どもたちの幸せのために、ご意見頂戴できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 小・中学校の適正規模・適正配置について

(1) 前回委員会の検討事項の整理

前回の委員会における検討事項について確認

(2) 規模適正化の検討基準について

望ましい規模としては1学級30人とし、

学級数は、小学校は全ての学年が1学級に、中学校は2学級になった時に、

児童・生徒数は小・中学校とも180人を下回った時に適正化を検討することを確認

<意見>

○1学級を何人で考えるかということは難しいが、望ましい規模として1学級30人で検討していくしかないのでは。

(3) 地区ごとの小・中学校の規模適正化・適正配置の方向性について

【川西地区・小学校】

適正化対象校として新居浜小学校と宮西小学校が挙げられるが、適正化の方策としては両校を1つにするのではなく、適正化検討校が生じた段階で、川西地区全体で見直すこととする。

<意見>

○全体的な校区の見直しをして1校にまとめ、保護者に選んでいただくようにしないと、「はい、一緒にします」では地域の反対が凄いのでは。

○20年、30年先を見越して、新居浜・宮西・惣開をひとつにして新しい学校を作るとか、新しい考え方で校区を再編成してもよいのでは。

○別子山小中学校のように、地域性をいかして色々なタイプの学校が生まれてもいいの

では。

- 複式学級を避けるため一定の規模の学校にしていけないといけないし、また今後は学校の建替えの問題も出てくるので、まずは学校規模を保ち、その後1つとか2つに再編成していくといったような2段階での考え方もあるのでは。
- 単純に統廃合という形では、地域を二分するようなことに繋がりがねないので、なかなか地域の理解を得るのは難しいのでは。
- それぞれの学校の真ん中、どこどこに新しい学校を作って統廃合しましょうとか具体的なことを言わないと、単に180人になったから統合しましょうでは、地域はなかなか納得しないのでは。

【川西地区・中学校】

適正化対象校を北中・西中とし、適正化の方策としては検討校が生じた段階で南中も含めた川西地区全体で見直すこととする。

<意見>

- 中学校は小学校よりもドライに割り切って考えられるのでは。
- どこかに統合ということになるといざこざも予想されるが、それも仕方ないのでは。
- 限られた情報の中でしか発送できないので、もっと柔軟な発想が出来るよう、全国で統廃合等がどういう形で進んでいるのか、事例が知りたい。
また一度地図上で学校の位置とか校区の線引きとか示してほしい。

【川東地区・小学校】

適正化対象校を浮島小学校・多喜浜小学校とし、適正化の方策としては検討校が生じた段階で、浮島小学校については校区の再編成も含めて考え、多喜浜小学校については存続も含めた検討を行う。

<意見>

- 浮島小を高津小と垣生小に分ける時に教室数が足りなくなるのではないか。
- 川東地区で3校を残し、残りの2校をそこへバラバラに持っていくのはどうかと。
もっと地区全体で20年後30年後のことを考えないといけないのでは。
- 先の見通しが不明な中では、順序的にたたき台の流れでいいのでは。
- しばらくは小さなところから吸収されるという形で進むかもしれないが、今後社会全般が大きく様変わりしていく中で、皆さんの認識も変わっていくのでは。
- 新居浜と同じぐらいの規模でスクールバスを導入しているような事例を調べて欲しい。
- 統廃合を考えていくうえで空き教室も問題が出てくるので放課後児童クラブをどうするかということも同時に考えていけないといけないのでは。
- 人数にこだわるのではなく地域性なども考慮して存続という考え方もできないか、統廃合は大きな問題であり、周知期間も必要なので、検討すべきことをきちんと決めたうえで進めて欲しい。
- 川東地区全体で2校ぐらいにできないか。

【川東地区・中学校】

東中学校、川東中学校ともに適正規模のため現状のままとする。

【上部地区・小学校】

適正化対象校を大生院小学校とし、適正化の方策としては中萩小学校への統合、若しくは小中一貫校について検討を行う。

<意見>

- 小中一貫の考え方であれば宮西校区でもできるのでは、新居浜小学校も巻き込んで。
- 大きくした方がいいと思うが小中一貫の方向でも議論を進め、公民館や保育園の複合館なども検討してはどうか。

【上部地区・中学校】

適正化対象校を大生院中学校と船木中学校とし、適正化の方策としては大生院中学校中萩小学校への統合、若しくは小中一貫校について検討を行い、船木中学校については角野小学校への統合、若しくは地理的なことから小中一貫についても検討を行う。

<意見>

- 船木中学校は通学距離のこともあるので、多喜浜小学校のように特色ある学校作りをしながら存続させることはできないか。
- 船木小・船木中も近いので、大生院のような小中一貫の形で残すことができないか、宮西校区についても。
- 通学距離を考えると自転車の場合は事故の事もあるし、部活帰りなどは暗くなってしまっているのではないか。

(4) 規模適正化・適正配置の検討に当たって留意すべき事項について

規模適正化・適正配置の検討に当たって留意すべき事項についての確認

<意見>

- スクールバスについては安全対策についても考えておく必要があるのでは。
- 新しいものを作るといった考え方も地域の協力が得やすいので必要ではないか。